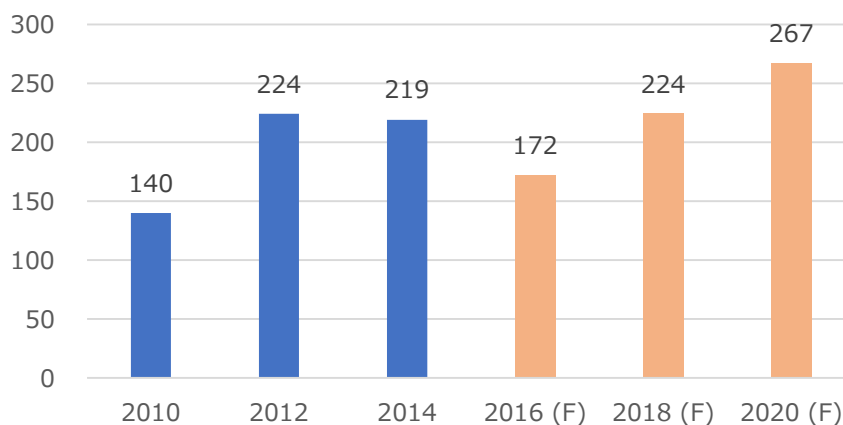


## UAE/ドバイにおける自動車・周辺産業の概況

### 1. 市場概要—UAEにおける自動車・自動車部品市場

GCC 及びインドにおいて活動する投資銀行の Alpen Capital 社のレポートによると、UAE における新車販売台数は、2010 年の 140,000 台から年率 8.8% で成長しており、2015 年には 214,000 台までに達している。販売台数のピークは 2013 年の 224,000 台であり、以降、2016 年にかけて減少傾向にある。しかし、同レポートによると UAE の新車販売台数は 2020 年に 267,000 台になると予測されており、2016 年以降、2020 年までは新車販売台数は再び拡大傾向に戻ると考えられている。

図① UAE における新車販売台数（千台）



出所：Alpen Capital 社 “GCC Automobile Industry, Dec 2016”

人気車種、メーカーの指針として約 53,700 台分のデータを掲載している現地の中古車・新車自動車販売サイト (Dubaicars.com) における同サイトのユーザーによる、2017 年のメーカー・車種別検索率ランキングを参照したい。ユーザーの 23.0% が検索をしているトヨタ自動車が 1 位を獲得（人気車種：ランドクルーザー）、2 位には 12.4% でメルセデス・ベンツ（人気車種：S-Class）がランクインした。以降、3 位は 11.2% で日産自動車（人気車種：パトロール）、4 位は 8.5% でレクサス（人気車種：LX570）、5 位は 6.0% で現代自動車（人気車種：Tucson SUV）となっている。UAE は砂漠地帯という土地柄もあり、車高と運動性能が高い SUV タイプの車が好まれており、同ランキングを見てもメルセデスベンツの S-Class を除けば、各社の人気車種は全て SUV タイプである。また、日系メーカーの人気は高く、当地報道によると全体の自動車販売市場シェアの半分以上を占めているという。実際に貿易統計をみると、UAE に輸入される自動車本体の輸入額は日本からが最大となっている。

アフターマーケット、周辺機器市場に目を転じると、2017年に輸入された自動車の部品、部分品、附属品の輸入総額は約2,300億円相当（1ドル＝110円で算出）となっており、その内訳は以下の表の通りである。輸入される部品のうち、ブレーキ系の部品、および懸架装置については200億円を超過している。クラッチ、バンパー、車輪等に関する部品がそれに続いて額面上、多く輸入されている。耐用年数の低いブレーキやショック・アブソーバー等は一般的に修理やメンテナンス上重要となるため多く輸入されており、より耐用年数の長い部品であるエアバッグやマフラー、シートベルト等の輸入額は低い傾向にあるようだ。

図② UAEにおける自動車の部品、部分品、附属品の輸入総額（2017年、億円）

部品名	輸入金額（億円）
ブレーキ及びサーボブレーキ並びにこれらの部分品	224
懸架装置及びその部分品（ショック・アブソーバーを含む。）	204
クラッチ及びその部分品	160
バンパー及びその部分品	86
車輪並びにその部分品及び附属品	78
ギヤボックス及びその部分品	65
駆動軸及び非駆動軸並びにこれらの部分品	64
ラジエーター及びその部分品	44
ハンドル、ステアリング・コラム及びステアリング・ボックス並びにこれらの部分品	43
安全エアバッグ（インフレーターシステムを有するもの）及びその部分品	15
消音装置（マフラー）及び排気管並びにこれらの部分品	14
シートベルト	3
その他	1,272
合計	2,274

出所：International Trade Centre

UAEに輸入される自動車部品は、上述の自動車本体と同様に日本からの輸入金額が最大となっている。2016年の実績値では約870億円と、日本に次ぐドイツ（約240億円）、米国（約160億円）を大きく上回っており、UAEは日本の自動車・関連産業にとって親和性の高い市場であることがいえる。

## 2. UAEの自動車周辺産業

車両の修理・アフターケアは各自動車メーカーの正規ディーラーが一般的にサービスを提供している。アフターパーツについては大手の「Global Auto Parts」社他、複数の専門事業者が存在しており、各ディーラーや二次卸へと展開している。大規模な修理・改修やメンテナンスは各ディーラーで行われている一方

で、例えばドバイ市内において国営石油会社 ENOC は同社が運営するガソリンスタンド等に「AutoPro」という施設を展開しており、軽微な修理やメンテナンスを行っている。

UAE におけるパーツや消耗品の小売店の特徴としては、日本の「イエローハット」や「オートバックス」等でイメージされるような大型専門店のチェーン展開がみられないことがあげられる。一部、ドバイでは上述の「ENOC」、「Emarat」や「EPPCO」、アブダビ等では「ADNOC Service Station」といったガソリンスタンド・チェーンにおいてエンジンオイル等も販売されており、交換サービス等の提供もあるが、基本的には個人経営の小規模専門店にて販売されている。以下はドバイにおける、そういった典型的なカー用品専門店の様子である。

図③ カーパーツおよびアクセサリ販売店（専門店）



自動車周辺機器販売店には、一部で小さな作業場を併設しアフターサービスを提供している店舗もあるが、多くは商品の陳列・販売をメインとした店舗となっている。ドバイ市内では、北西側に位置するデイラ地区に多くの販売店が集結している。同地区は海外からの個人バイヤーが多種多様な製品を求めて集結する地としても知られており、UAE 国内のみならず、一部、海外における自動車周辺機器の需要に対しても、製品を供給していると考えられる。

### 3. UAEにおける自動車・周辺産業に関するビジネス機会

自動車のアフターパーツや周辺機器に関しては、今後も新車販売台数が堅調に増加していくことを鑑みると、現地における需要は拡大していくものと想定される。具体的な事業展開の方針としては、現地において有力な代理店を探索し、その代理店経由でディーラーや小売店等へ商品を卸すというのが一般的な商流になると考えられる。現地の市場において求められている商品をしっかりと把握した上で、自社の商品を現地の代理店候補へ売り込むことが、事業を展開する上での肝となる。

日本企業の展開例としては株式会社イエローハットが地場企業と合併会社を設立し、新興住宅街地域である「ナド・アル・ハマー地区」に店舗を一つ構えている。同店舗は、AVC 商品（カーナビなど）に加え、一般カー用品、ドレスアップ&チューンアップ商品などを多様に取り揃えている。また、同店内にはピットエリアが設けられており、各種商品の取り付けサービス等を提供している。

現地の代理店を探索するにあたる有効な手段としては現地で開催される展示会への参加が挙げられる。具体的には、毎年、5月～6月頃に開催されているメッセ・フランクフルト社主催の「Automechanica Dubai」が候補として考えられる。同展示会は、パーツやコンポーネントをはじめ、アクセサリ、カーウォッシュ用品、カーケア及びリコンディショニング用品、エレクトロニクス、タイヤ、バッテリー等を取り扱う企業が世界中から出展する展示会である。2018年の同展示会には、合計1,801社が出展し、来場者数は約32,000人に上った。こうした展示会に出展することで、①自社商品に対する現地のユーザーの反応を伺い、自社製品の現地における市場性を把握し、②代理店候補となる企業との接点がつくり、自社製品が現地へ流通する上での重要なステップである現地代理店（パートナー）の候補と面通しを行い、③競合他社の製品やサービスを把握することで、自社製品の競合と比較した場合の優位性を明確化することができる。競合の動きや市場のニーズを踏まえた商品開発、そのための情報収集が肝要である。

以上

◇参考：

・UAEにおける中古車市場の状況（2018年5月作成）

[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Marketing/world/ae/uaepf\\_usedcar1805k.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Marketing/world/ae/uaepf_usedcar1805k.pdf)

UAE/ドバイにおける自動車・周辺産業の現状と展望（2018年7月作成）

UAEプラットフォーム・コーディネーター：ksn Research & Consulting

日本貿易振興機構（JETRO）ドバイ事務所

35th Floor, #3503 - #3506, The One Tower, Barsha Heights, TECOM, Dubai, U.A.E.

【おことわり】本資料は「UAE 中小企業海外展開現地支援プラットフォーム事業」の一環として作成したものです。提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご利用下さい。JETROではできるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して不利益等を被るような事態が生じたとしても、一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい。